

平成28年度 学校関係者評価報告書

— 平成27年度 自己点検・自己評価に対して —

学校法人 ホンダ学園
ホンダ テクニカル カレッジ 関西
平成29年3月



Honda Technical College

1. はじめに

学校法人ホンダ学園 ホンダテクニカルカレッジ関西では、文部科学省が示した「専修学校における学校評価ガイドライン」を踏まえ、学校の自己評価結果の客観性・透明性を高め、学校と密接に関係する方々の理解促進や連携協力による学校運営の改善を図ること等を目的として、学校関係者評価を実施し、その結果を本報告書にまとめました。

学校関係者評価委員の皆様から頂いたご意見、ご助言を今後の学校運営に活かし、教育機関としての一層の質保証・向上を推進していきます。

2. 学校関係者評価委員会開催概要

- 日時 第1回委員会:平成28年 6月 3日(金) 13:00~15:30
第2回委員会:平成28年12月 2日(金) 13:00~15:30

- 場所 ホンダテクニカルカレッジ関西 1号館3F 136会議室

■ 評価委員

氏名	会社	部署・役職	選任区分
太田 康	八千代工業株式会社	常務取締役	企業関係者 (委員長)
松岡 孝	本田技研工業 株式会社	日本本部 地域人事室 主幹	企業関係者
辻井 茂満	株式会社 ホンダカーズ大阪	経理部 部長	企業関係者 (卒業生)
河井 政昭	株式会社 ホンダ泉州販売	本社サービス課 課長	企業関係者
俣野 勇輔	ホンダテクニカルカレッジ関西 後援会	会長	保護者

■ 学校側出席者

氏名	部署・役職
澤田 武美	校長
沼田 昌彦 ※6月のみ出席	教務部部長 兼 教務2課課長
寺尾 典篤	教務1課課長
藤本 昌伸	学務室 室長
五月女 浩	教頭 (事務局)

3. 委員会次第

■第1回委員会

- ・挨拶/新委員紹介
- ・ホンダ学園 方針説明
- ・募集状況
- ・就職状況
- ・休退学状況
- ・登録試験 結果
- ・日産自動車大学校 & ホンダ学園交流会
- ・教職員研修予定
- ・化学物質リスクアセスメント
- ・2015年度の委員会提言への取り組み状況 まとめ
- ・「職業実践専門課程」の認定申請

■第2回委員会

- ・挨拶
- ・二輪ツーリングにおける学生死亡事故
- ・募集状況
- ・就職状況
- ・休退学状況
- ・教職員の研修状況
- ・化学物質リスクアセスメント推進状況
- ・AO入試導入について
- ・留学生学科の設置
- ・「職業実践専門課程」の認定申請
- ・平成27年度 自己点検・自己評価報告書の評価

4. 実施方法とまとめ方

第1回委員会にて、2016年度の学園の方針の説明を行い、募集、就職、休退学、登録試験等の状況について、委員会での課題共有をはかりました。

また、前年度の委員会提言に対する取り組み状況についても報告しました。

第2回委員会にて、平成27年度 自己点検・自己評価報告書を用い、基準1～基準10に対して説明と質疑応答を行い、委員の皆様からのご意見をもとに、最終評価をまとめました。

次頁に、学園の方針・取り組み状況に対するご意見も含め、自己点検・自己評価報告書の基準ごとに評価結果(委員からの意見と対応の方向性)をまとめたものを記載いたします。

5. 評価結果(委員会からの意見と対応の方向性)

基準1:教育理念・目的・育成人材像等

委員会からの意見	対応の方向性
<p>① 社会の急激な環境変化が続きます。学校としては子供が減り、需要と供給が逆転してきています。学校への価値観も変わってきています。お金や就職に対する価値観も変化しており、良い会社と言われていても50年先も良い会社であるとは保証されておらず、その時々で就職先を変えていく必要もあります。多様性、女子学生、留学生等においてそれぞれの価値観の違いをどの様に認めていくのかも重要です。その変化の方向を予測することは難しいですが、先を考えていく必要があります。急激な変化に対して何をすべきかを問い続ける必要があります。</p> <p>② 毎年オートサロンに多くの企業と、見学者が集まっています。この様な勉強をしている人が力を発揮できる場であると思います。整備士も車が壊れなくなると、そのようなカスタマイズの需要が伸びていくのではないのでしょうか。</p> <p>③ 弊社では特装車両の開発に力を入れていて、開発科の学生が適任です。今後とも学生の輩出をよろしく願います。</p>	<p>① 環境変化についてタイムリーに教職員全員で共有することが重要であると考えます。特に留学生の受入れ施策は、自動車整備業界の将来性を左右する重要なテーマであると捉えています。他校の動向も調査しながら、Hondaグループと教職員全員の協力体制をもって、お客様に選ばれる学校を目指します。</p> <p>② 販社における整備士への需要は大変高く、その育成は引き続きぶれずに行う必要があると思っています。カスタマイズにおいては板金塗装の設備の必要性も含め検討していきます。</p> <p>③ 技術者の育成において、関東校での2年間の教育ではまだ力が足りないので、4年制にしていきます。関西校ではF_SAEの製作によって学生を育てています。メーカー様からのご協力が不可欠ですのでよろしく願います。</p>

委員会からの意見	対応の方向性
<p>⑤ 弊社でも整備士が確保できないので、ホンダ学園以外の学校からも採用していますが、それらの学校でも留学生は増えています。これまでの様に、「採用したら10年間は働いてくれる人でなければ駄目」ではなく「5年後に母国の戻れば、そこでホンダに貢献できる」というグローバルな視点での環境が整うことを期待しています。</p>	<p>⑤ 日本語学校からも、留学生学科の要望があります。教育環境を整えるために、将来的には卒業生の中から優秀者を教員として採用したいと思っています。地方の販社中心に外国人を必要としているところがあり日本に帰化した留学生もいます。ガソリン車から電気自動車に変わっていくなかで、整備士としての働き方も変わっていき、Glossの様なところや車検センターで留学生は力を発揮できると思います。</p>

基準2:学校運営

委員会からの意見	対応の方向性
<p>① 若者の人口が減るなかで、女性の活躍は求められています。本田技研も女性を採用し、活躍施策をすすめています。ホンダ学園のHPやパンフレットを見ても、女性をターゲットにしている様には見えません。HPやパンフレットを製作しているのが男性だけだからではないでしょうか。女性を入れて製作すべきです。</p>	<p>① 女性のために洗面所やロッカー等の環境整備を行う必要があると思っています。HPやパンフレットには必ず女性を登場させていますが、女性の心に響く構成にはなっていないのかもしれないので、女子学生、女子職員の意見を反映したものにしていきたいと思います。</p>

基準3:教育活動

委員会からの意見	対応の方向性
<p>① 休学者分析の説明にあったウォーニング制度は、学生が十分理解し効果に繋げるものとするべきです。</p> <p>② 新しく入学した留学生5名には、言葉の障害はありませんか。教師が英語を話すことができれば、英語で教えることも出来る環境になるのではありませんか。</p> <p>③ 車両の車庫入れは、全くの初心者と一回でも練習した者とは明らかに違います。授業の継続をお願いします。</p> <p>④ 自動車整備振興会では、毎年技術講習会を開いていますので参加して下さい。</p> <p>⑤ カリキュラムの改善は継続的に行ってください。</p>	<p>① ウォーニング(警告)制度は、成績、遅刻欠席、素行が悪い学生に対して警告を与え、早い段階から改善を促す制度です。入学時のオリエンテーションで十分説明しており、学園ガイドにも明記していますが、近年の学生状況を判断し運用は見直していきます。</p> <p>② 本年度の入学生はN2を取得していますので、問題ありません。今後N3レベルの学生を向えるには対応が必要であると考えています。現状の教師では英語での授業は難しいため、分かり易い表現での授業を構築していきます。</p> <p>③ 出来るだけ時間を取って練習いたします。</p> <p>④ 他社の技術を学ぶためには良い講習会ですので、参加させていただきます。</p> <p>⑤ 今年は基礎授業を大きく変更しましたが、来年度も継続して改善していきます。改革にあたっては、本単元とのギャップも考慮する必要があります。関東校、関西校と一緒に改革を推進します。本田技研やホンダカースからスポットでの講義をお願いすることで、最新技術を教えることができるようにします。ホンダの最新技術を教えることで、就職後の仕事のレベルUPに繋がります。</p>

基準4:教育成果

委員会からの意見	対応の方向性
<p>① 一級科において休日にも登校し勉強をしていた学生は、他のクラスメイトも誘ったりしていたとのことで、その様なことが一級の合格率改善の結果に結びついたと思います。引き続きその様な雰囲気づくりが必要であると思います。</p> <p>② ある程度の数の学生は退学してしまうでしょうが、改善は先生方の熱意に掛かっていると思います。正直それしか無いかも知れませんが、情熱を持って学生に向き合えば、学生は前向きになると思います。</p> <p>③ 休学者が減った要因は何かと考えたときに、ゆとり世代の若者への理解が一番の要因となっていると思います。私達企業にも求められていることだと思っています。この様な取り組みが学校としての価値を向上させる、ということだと思っています。今回その結果が出ていることは評価できます。</p> <p>④ 「学校での成績が悪くても在籍できる」というようにはならないのでしょうか。</p>	<p>① 昨年の一級科4年生はクラスの雰囲気が大変良かったと思います。社会に出てから再チャレンジしても、なかなか合格できません。在学中に合格することが重要であり、クラスの雰囲気づくりに努めていきます。</p> <p>② 友人づくり、クルマへの興味醸成、基礎導入授業の見直し、成績評価の方法の改善をはかり、学生一人一人を見る環境を教職員全員で作っていきます。</p> <p>③ 若者の変化への理解が遅れていました。若者を理解するために、教職員の勉強を開催しています。基礎授業の見直しも行っていて、学校の雰囲気をより良くしていきます。</p> <p>④ 追再試験の段階で十分なフォローを実施しています。現状では試験での評価の区切りがあり、それを無視することはできません。</p>

基準5:学生支援

委員会からの意見	対応の方向性
<p>① 体育祭は良い試みであると思います。今の世の中、体育祭のようなものが見直されて来ていると思います。</p>	<p>① 雰囲気を含めた学校の環境づくりが大切であると考えています。方針に定めた通り、“選ばれる学園”になれるよう一步一步頑張っていきます。</p>

基準6:教育環境

委員会からの意見	対応の方向性
<p>① 化学物質のSDSを入手する際は、「一度入手したからそれで良い」ということではなく、随時新しいものを取り寄せる必要があります。弊社でも同じ製品なのに何時の間にか内容物が変化している事例がありました。</p> <p>② 学生相手の現場ですので、化学物質アセスメントは早急な対応が必要です。ペットボトル等に小分けされ化学物質への注意が特に心配です。内容物が分かりませんから。</p>	<p>① 最新のSDSを入手するように努めます。</p> <p>② 長い間使われずに保管されているものが多数あります。それらの廃棄をすすめ、クリーナー等は銘柄を絞って管理していきます。</p>

基準7:学生募集と受け入れ

委員会からの意見	対応の方向性
<p>① ホンダカーズ(HC)店にてホンダ学園をもっとPRする必要があると考えます。岡山国際サーキットには小さい子供から高校生まで来ていますからホンダ学園を宣伝した方が良く考えています。また学生の気持ちをどうやってHCに向けて行くのが大切だと思います。</p> <p>② 特派員の皆さんが高校を訪問した時の説明用に学園のPRビデオを作る必要があると思います。先日エンジョイホンダに伺いましたが、最後は8耐の展示ブースになってしまったように感じました。学園のブースを活かすために動画を加えた学校説明を行うことは有効であると考えます。</p> <p>③ AO入試では何を重視して合格を決めるのでしょうか。入学させても直に辞めてしまっは何にもなりません。学校を知るきっかけを作るのも重要だと思います。</p> <p>④ AO入試は今後急激に増えると思われます。これまでは、入試によって学校側が受け入れるかどうか判断していましたが、数年後は学生に全ての選択権があり、「あなたの学校に行っておけることにしました」ということになるのでしょうか。AO入試導入の考え方はどの様なものなのでしょうか。</p>	<p>① 学園のパンフレットはHCに配ってはいますが、その取り扱いは店ごとに差があります。HCの社長に協力を依頼し、同伴して高校を周ることが大切であると考えています。サーキットでのPRの件は検討させていただきます。またHCへの就職を望む学生ばかりではありません。広く自動車業界で活躍できる人材を輩出できればと考えており、個別に確りと話をしていきます。</p> <p>② 昨年iPadを用いた学園紹介を試みましたが、契約の関係で3ヶ月で終了してしまい、現在映像での紹介が出来なくなっています。映像等で分かり易い説明が出来たら良いと思っており担当者と詰めてまいります。</p> <p>③ 面談で十分に話をして本人の意志を確認していきます。良い学生を輩出できるよう努力していきます。</p> <p>④ 先行してAO入試を導入し高校の先生から評価されている例として、入学前に全ての学生を3回集め将来の仕事のイメージ育成や入学後の心構えを教えている入学前研修があります。関西校でもその様な入学前研修を導入し、AO入試を入学前0.5年の学習機会の創出としていきます。学校が求める人物像を大切にして学生を集められるよう努力します。</p>

基準8:財務

委員会からの意見	対応の方向性
<p>・特に意見、指摘はなし</p>	

基準9:法令等の遵守

委員会からの意見	対応の方向性
<p>① USBメモリーの置き換えは完了しているのですか。貸与USBメモリーは、一度使ったらメモリー内のファイルを完全に消去して返却するようにして下さい。パスワードの定期的な変更も必要です。</p>	<p>① 学校指定のPW機能付のものへの置き換えは完了しています。運用においてもご助言に従い機密管理を徹底いたします。</p>

基準10:社会貢献

委員会からの意見	対応の方向性
<p>① 重大な社会問題として交通事故があります。二輪車による死亡事故は大変残念です。ベテランの人がバイクツーリングの仕方を教えることが出来たら防げたかもしれません。</p> <p>② ボランティア活動は感謝されると「またやろう」という気持ちになります。困っていて、感謝されるようなボランティアを探すことも必要です。弊社の従業員がボランティアを行おうと思ったのは、御礼の手紙をもらったのがきっかけです。その様な観点ですすめると良いと思います。</p>	<p>① 学校への事前のツーリング計画書の提出はありませんでした。経験が無かったため距離感が掴めず無理な走行をしたと思われる。学校で準備しているプロテクターの活用も含め、学生指導を強化いたします。</p> <p>② ボランティアは誉めることを大切にして推進していきます。</p>

まとめ

学校関係者評価委員会において、学園の重点目標、平成27年度 自己点検・自己評価報告書の基準1～基準10について客観的に確認して頂き、学校運営の状況の評価していただきました。委員会からの意見として、女性や外国人をターゲットとした学生募集の強化、退学者数の低減の取り組み、授業内容の見直し、機密や法令遵守の強化等において多くのご指摘やご意見をいただきました。ご助言を活かし、学園の魅力を向上し、募集活動を強化することで、教育機関としての高みを目指すことで、社会的な課題である自動車整備士の人材確保に貢献していきます。